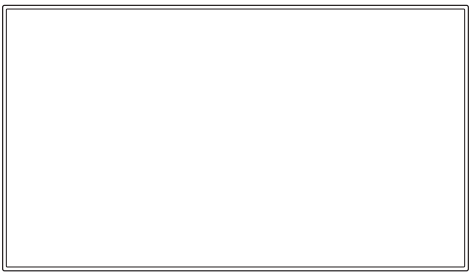
Panasonic®

取扱説明書
基本ガイド

UHD 液晶ディスプレイ 業務用

品番 TH-98SQE2J (98V 型)
TH-86SQE2J (86V 型)
TH-75SQE2J (75V 型)
TH-65SQE2J (65V 型)
TH-55SQE2J (55V 型)
TH-50SQE2J (50V 型)
TH-43SQE2J (43V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめにお読みください
本機の操作方法など、より詳しい内容については「取扱説明書 詳細編」をお読みください。
「取扱説明書 詳細編」のダウンロードについては、次の URL を参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（3 ～ 7 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-98SQE2J（98V 型）、TH-86SQE2J（86V 型）、TH-75SQE2J（75V 型）、TH-65SQE2J（65V 型）、TH-55SQE2J（55V 型）、TH-50SQE2J（50V 型）、TH-43SQE2J（43V 型）共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

保証書付き

microSD XC™

4K PROFESSIONAL
* 実解像度 : 3840 x 2160 画素

HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Dolby Audio

HEVC Advance™ Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社
〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

© Panasonic Projector & Display Corporation 2025

VE0923MZ2115 -FJ
トルコ印刷
DPQX1677ZC/X1

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主にTH-55SQE2J（55V 型）を元に作成しています。

安全上のご注意 …… 3
使用上のお願い …… 8
付属品の確認 …… 12
移動するときの注意 …… 14
外部 IR 受信機の取り付け …… 15
Wireless LAN アダプターの取り付け …… 18
壁掛け金具とスタンドを取り付ける際の注意 …… 18
接続 …… 19
各部の基本説明 …… 22
基本の操作 …… 25
初めて電源を「入」にしたとき …… 26
仕様 …… 29
ソフトウェアライセンス …… 32
商標について …… 33
保証とアフターサービス（よくお読みください） …… 34
保証書 …… 裏表紙

大切なお知らせ

業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社ディスプレイをご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

(https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/)

または、

パナソニック PASS で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、新規登録 メンバー登録・製品登録 ボタンから登録をお願いします。

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

■ 簡単なご登録だけで、様々なコンテンツをご利用いただけます

・ダウンロード

ユーティリティーソフトウェアや業務用ディスプレイファームウェアをダウンロードできます。

・ニュースレター購読

PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。

・お問い合わせ

ログインいただくと、細かい手続き不要ですぐにお問い合わせいただけます。

■ 本体購入後 1 か月以内に PASS にご登録頂きますようお願いいたします。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください

感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

電源コードについて

■ **電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください**

付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

■ **付属の電源コードを他の機器に使用しないでください**

ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

■ **電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください**

湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください**

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください**

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■ **電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください**

差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- 電源コードホルダーが電源コネクターに掛かっていることを確認してください。(98V 型のみ)
(☞ 20 ページ)

■ **電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください**

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など）

ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■ **破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください**

感電やショートによる火災の原因になることがあります。

■ **本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください**

■ **アースは確実に行ってください**

感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

⚠ 警告

■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 据置きには VESA 規格準拠の据置きスタンドを必ずご使用ください。
- 壁への取り付けには指定の別売壁掛け金具や VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。

  98V 型：
  VESA 800 × 400

  86/75/65V 型：
  VESA 600 × 400

  55V 型：
  VESA 400 × 400

  50/43V 型：
  VESA 200 × 200
- 落下防止のため、ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 付属の単 3 乾電池、ねじ、プレート、ホルダー、およびクランパーは乳幼児の手の届くところに置かないでください

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください

接触禁止

感電の原因となります。

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器）

水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ ぬらしたりしないでください

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

■ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 不安定な場所に置かないでください

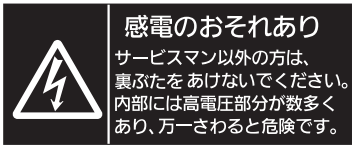
ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください

倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 裏ぶた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください

分解禁止



「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

■本機の通風孔をふさがないでください
■風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
■逆さまにしないでください
■あお向けにしないでください
■テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
(☞ 8 ページ)

■上に物を置かないでください

倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください

倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。
- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください

火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜いてください

コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒防止具を外してください

コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

■接続ケーブルの処理は確実に行ってください

ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
■日光、火などの過度な熱にさらさないでください

取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください

取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

挿入指示通り正しく入れてください。
(☞ 13 ページ)

■被覆のはがれた電池は使用しないでください

取り扱いを誤ると、電池のショートにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

■使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください

そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。

■強い力や衝撃を加えないでください

液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。

■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■開梱や持ち運びは次の人数で行ってください
98/86/75V 型：4 人以上
65/55/50/43V 型：2 人以上

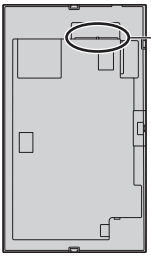
落下してけがの原因になることがあります。

⚠ 注意

■ **運搬や移動をする場合は、必ず取っ手を持ち行ってください（98/86/75/65V 型のみ）**

落下してけがの原因になることがあります。

■ **本機を縦置きに設置されるときは、必ず側面端子面を上側にして設置してください**



異なる方向に設置すると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

■ **本機をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください**

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

■ **壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください**

壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

■ **接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください**

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

■ **塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください**

腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

■ **一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください**

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

■ **お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください**

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

使用上のお願い

■設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒･落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

海抜2 800 m以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、海抜 1 400 m 未満で使用する場合は、0 ℃～ 40 ℃、高地（海抜 1 400 m 以上～ 2 800 m 未満）で使用する場合は、0 ℃～ 35 ℃です。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機の液晶パネル面を立てた状態で移動してください。

- 液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押したり、先のとがった物で押したりしないでください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

- 室内であっても直接日光が当たると液晶パネルの温度上昇により故障の原因になることがあります。

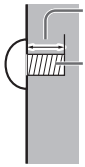
本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

設置時の空間距離について

- ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が本機の使用環境温度の範囲内に維持するように適切な換気を確実に行ってください。

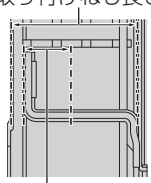
VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合

使用するねじについて



- すべてのねじがしっかり締め付けられていることを確認してください。

取り付けねじ長さ許容値



取り付け穴の深さ

（側面より見る）

(A) 取り付けピッチ
(B) 取り付け穴の深さ
(C) 取り付けねじ長さ許容値
(D) ねじ（本数）

	(A)	(B)	(C)	(D)
98V 型	800 mm × 400 mm	12 mm	-	M8（4）
86V 型	600 mm × 400 mm	12 mm	-	M8（4）
75V 型	600 mm × 400 mm	10 mm	23 mm	M8（4）
65V 型	600 mm × 400 mm	10 mm	24 mm	M6（4）
55V 型	400 mm × 400 mm	10 mm	24 mm	M6（4）
50V 型	200 mm × 200 mm	10 mm	24 mm	M6（4）
43V 型	200 mm × 200 mm	10 mm	23 mm	M6（4）

■接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。
  コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差してください。

■ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

偏向サングラス使用時、画面表示が見えない場合があります。

- 液晶パネルの偏向特性による現象です。故障ではありませんのでご了承ください。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは精密度の高い技術で作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが発生する場合があります。これらは故障ではありませんのでご了承ください。

	ドット抜けの割合※
98V 型	0.00011% 以下
86V 型	0.00007% 以下
75V 型	0.00004% 以下
65V 型	0.00004% 以下
55V 型	0.00004% 以下
50V 型	0.00004% 以下
43V 型	0.00004% 以下

※ ISO9241-307 の基準に従って副画素（サブピクセル）単位で計算しています

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないよう取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

ディスプレイの一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面等の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

長時間ご使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。

電源が瞬断や瞬停、瞬時電圧低下すると、正常に動作しない場合があります。

- このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがありますが故障ではありません。

■有線 LAN/ 無線 LAN について

ディスプレイの無線 LAN 接続機能使用時は、2.4 GHz/5 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

ほかの無線機器の近くで使用しないでください。

- 下記の機器は、ディスプレイと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでディスプレイを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。
  - 電子レンジなど
  - 産業・科学・医療用機器など
  - 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
  - 特定小電力無線局

ディスプレイの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

- 携帯電話・テレビ・ラジオなどは、ディスプレイと違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、ディスプレイからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

- 木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、無線 LAN または有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、無線 LAN または有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。
  このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック　業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル **0120-872-002**

携帯OK ※携帯・自動車電話からもご利用になれます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～17：30（12：00～13：00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_support

ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

国外での取り扱いについて

- ディスプレイは、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

使用できる無線 LAN のチャンネルについて

- 下記の表を参照してください。

国または地域	規格	使用チャンネル	周波数帯域（中心周波数）
日本	ARIB STD-T66 IEEE802.11b/g/n	1 ～ 13 チャンネル	2 412 MHz ～ 2 472 MHz
	IEEE802.11a/n	36/40/44/48 チャンネル（W52）	5 180 MHz ～ 5 240 MHz
		52/56/60/64 チャンネル（W53）	5 260 MHz ～ 5 320 MHz
		100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル（W56）	5 550 MHz ～ 5 700 MHz

- 電波法の規制により無線 LAN の5 GHz 帯のうち、一部の帯域で使用に制限があります。
- W53 は屋外では使用できません。
- W52 は高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合を除いて屋外で使用できません。
- 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由してください。

2.4DS/OF4

本機は、2.4 GHz 帯を使用する、DS-SS および OFDM 変調方式の無線機器です。中心周波数に 2 412 ～ 2 472 MHz (CH1 ～ CH13) を使用し、想定干渉距離は 40 m です。

本機には、日本の電波法に基づく技術基準に適合し認証済みの無線モジュールが搭載されています。

■ セキュリティーに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティー対策を十分に行ってください。

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック プロジェクター＆ディスプレイ株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。

無線 LAN 製品ご使用時における セキュリティーに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 通信内容を盗み見られる

    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
  - 不正に侵入される

    悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
    個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
    特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
    傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
    コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
    などの行為をされてしまう可能性があります。
- 本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- 無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティーに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。
  なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
  本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティー設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。

お知らせ

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

通気孔のゴミやほこりを取り除く

- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

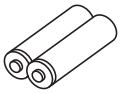
付属品の確認

付属品

付属品が入っていることをご確認ください。
<　　>は個数です。

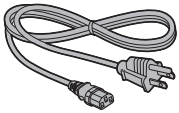
□ リモコン< 1 >
● DPVF3675ZA/X1

□ 単 3 形乾電池< 2 >
（リモコン用）

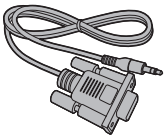


□ クランパー< 3 >
● DPVF3412ZA/X1

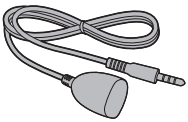
□ 電源コード< 1 >
（約 2 m）
● DPVF3698ZA/X1
（DPVF3883ZA/X1）



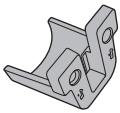
□ RS232C ケーブル< 1 >
（約 1 m）
● DPVF4637ZA/X1



□ 外部 IR 受信機< 1 >
● DPVF3415ZA/X1

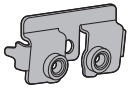


□ 外部 IR 受信機ホルダー< 1 >
● DPVF3416ZA/X1



□ ねじ< 2 >
（外部 IR 受信機ホルダー用）
● DPVF3417ZA/X1

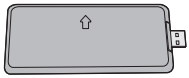
□ プレート< 1 >
98V 型のみ
（外部 IR 受信機ホルダー用）
● DPVF3672ZA/X1



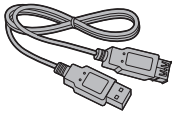
□ ねじ< 3 >
98V 型のみ
（外部 IR 受信機ホルダー用）
● DPVF4202ZA/X1

□ プレート< 1 >
86V 型のみ
（外部 IR 受信機ホルダー用）
● DPVF3524ZA/X1

□ Wireless LAN アダプター< 1 >
98/86V 型のみ
● DPVF4659ZA/X1



□ Wireless LAN アダプター用延長ケーブル< 1 >
98/86V 型のみ
● DPVF3414ZA/X1



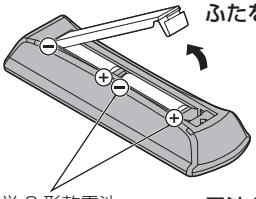
□ スペーサー< 4 >
55/50/43V 型のみ
● DPVF4639ZA/X1

□ ねじ< 4 >
55/50/43V 型のみ
（スペーサー用）
● DPVF4640ZA/X1

お願い

- 付属の外部 IR 受信機を本機に接続しないとリモコンで操作できません。(98/86/75V 型のみ)
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります）
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。（サービスルート扱い）
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

リモコンの電池の入れかた



電池を入れ、ふたをしめる

（⊖ 側から先に入れます。）

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

次の点にご注意ください。

1.電池は常に２本１組で交換してください。

2.使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。

3.異なる種類の電池を組み合わせないでください（例えばマンガン電池とアルカリ電池など）。

4.使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。

5.電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

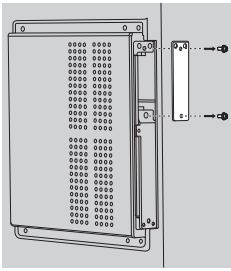
ファンクションボードの取り付け

機能拡張用の幅の狭いファンクションボードを取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

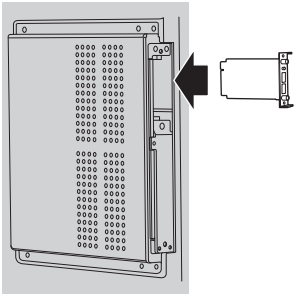
お願い

- ファンクションボードの取り付け、取り外しの際は必ずディスプレイ本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

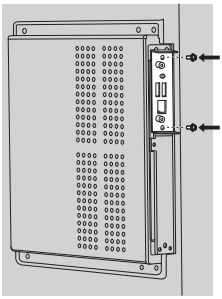
1 ２本のねじと本機のスロットカバーを外す



2 本機のスロットにファンクションボードを挿入する

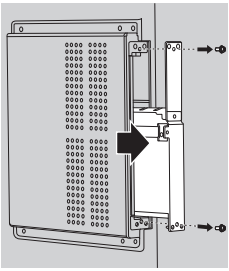


3 ２本のねじで締め付ける

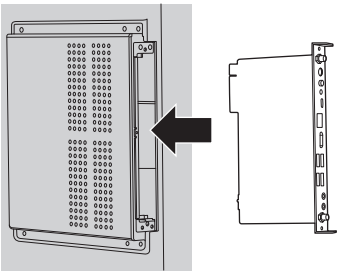


フルサイズのファンクションボードを取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

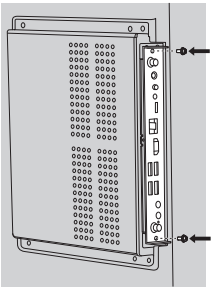
1 2本のねじと本機のスロットカバーを外す



2 本機のスロットにファンクションボードを挿入する



3 2本のねじで締め付ける



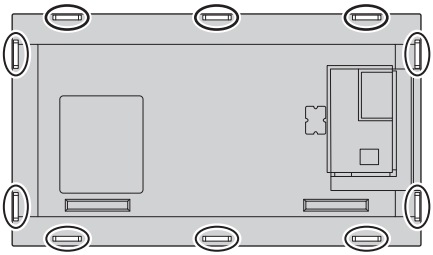
移動するときの注意

98/86/75/65V 型

以下の機種には、持ち運びのための取っ手があります。
移動する際には取っ手を持ってください。

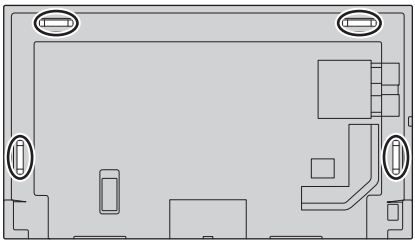
98/86V 型

：取っ手

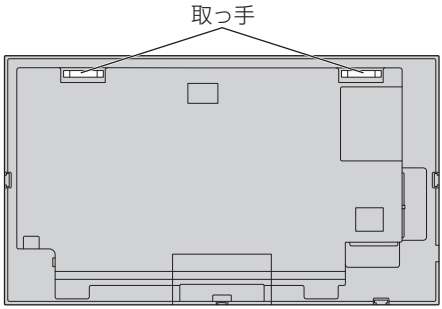


75V 型

：取っ手



65V 型



お願い

- 取っ手以外の場所を持たないでください。
  （98/86/75/65V 型）
- 持ち運びは次の人数で行ってください。
  98/86/75V 型：4 人以上
  65/55/50/43V 型：2 人以上
  落下してけがの原因になることがあります。
- 移動時は液晶パネル面を立てた状態で持って移動してください。
  液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル変形、内部破損の原因となることがあります。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部、また液晶パネル前面を手で持ったり、ぶつけたりしないでください。
  液晶パネルの故障の原因になります。
  またパネルが割れてけがの原因となることがあります。

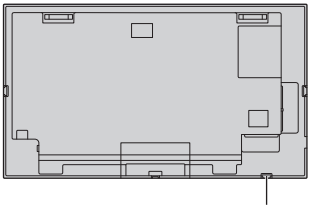
外部 IR 受信機の取り付け

65/55/50/43V 型

IR 受信機はディスプレイに内蔵されています。

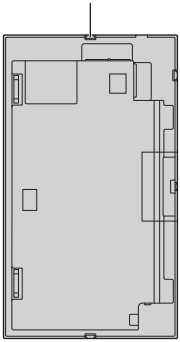
リモコン操作時に内蔵 IR 受信機の反応が悪い場合は、付属の外部 IR 受信機をディスプレイに取り付けることでリモコンの反応を改善することが可能です。

横設置時



外部 IR 受信機の接続位置

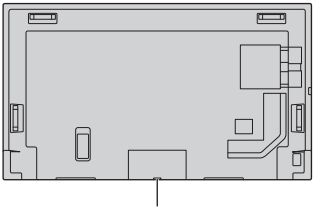
縦設置時



98/86/75V 型

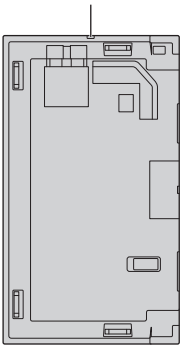
IR 受信機はディスプレイに内蔵されていません。リモコンで操作する場合は、外部 IR 受信機を接続する必要があります。

横設置時



外部 IR 受信機の接続位置

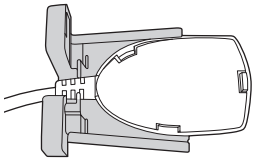
縦設置時



外部 IR 受信機の接続方法

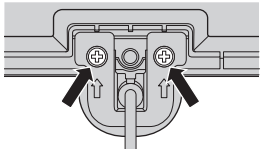
75/65/55/50/43V 型

1 外部 IR 受信機ホルダーに IR 受信機を固定する



2 2本のねじで締め付ける

背面

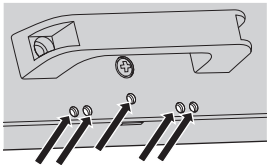


3 外部 IR 受信機のケーブルを IR IN に接続する

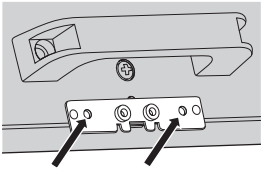
86V 型

1 ディスプレイの 5 本のねじを外す

背面

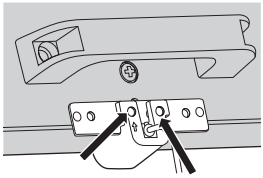


2 (5 本のねじのうち) 2 本のねじをプレートに締め付ける

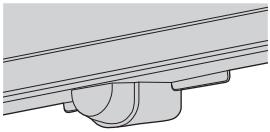


3 外部 IR 受信機ホルダーに IR 受信機を固定する

4 (5 本のねじのうち) 2 本のねじをホルダーに締め付ける (1 本は予備)



前面

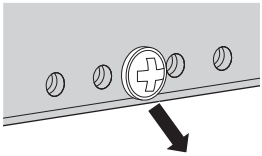


5 外部 IR 受信機のケーブルを IR IN に接続する

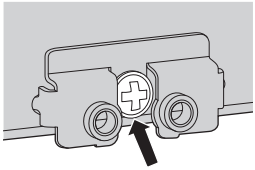
98V 型

1 ねじを外す
(外したねじは使用しない)

背面

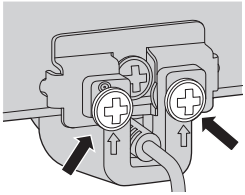


2 付属のねじ 1 本をプレートに締め付ける

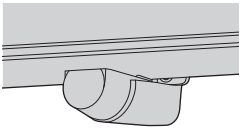


3 外部 IR 受信機ホルダーに IR 受信機を固定する

4 付属のねじ 2 本をホルダーに締め付ける



前面

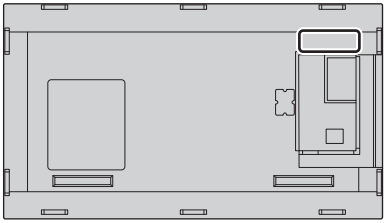


5 外部 IR 受信機のケーブルを IR IN に接続する

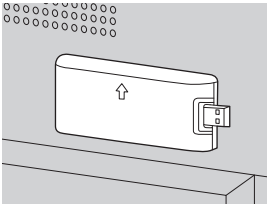
Wireless LAN アダプターの取り付け 98/86V 型

Wireless LAN アダプターを固定する場合は、以下の手順で行ってください。

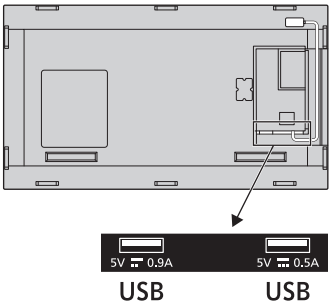
1 マジックテープの剥離紙をはがす



2 Wireless LAN アダプターを背面カバーに固定する



3 延長ケーブルを Wireless LAN アダプターといずれかの USB 端子に接続する

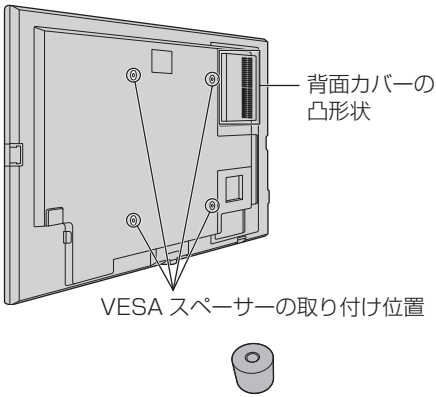


壁掛け金具とスタンドを取り付ける際の注意

55/50/43V 型

壁掛け金具やスタンドを取り付ける際に、背面カバーの VESA 穴付近の凸形状が干渉する場合があります。

その際は VESA のスペーサーを使用してください。

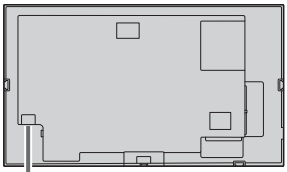


接続

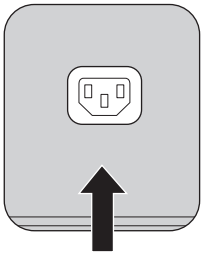
電源コードに関する注意

86/75/65/55/50/43V 型

本体後面

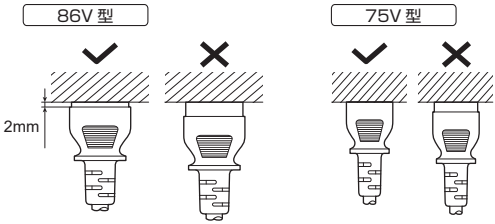


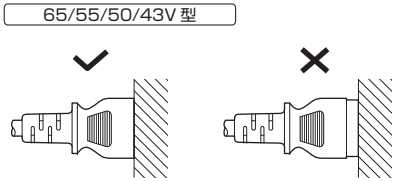
電源コードの固定方法



電源コード（付属）

コネクターを本体に差し込む



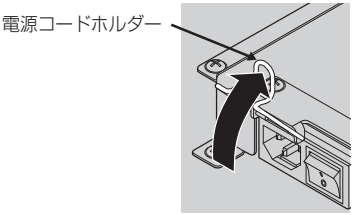


お願い

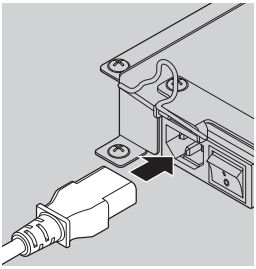
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

98V 型

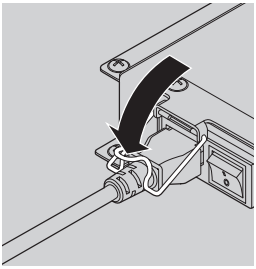
1 電源コードが差し込めるように、電源コードホルダーが上がっていることを確認する



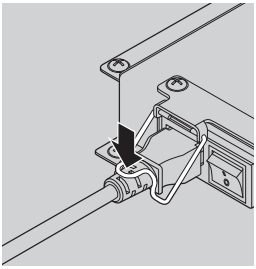
2 コネクターの向きに気を付けて、電源コードを奥まで差し込む



3 電源コードホルダーを下げる

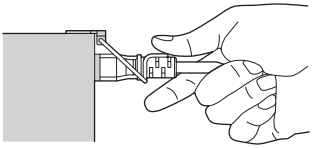


4 電源コードホルダーの端が電源コードにカチッとはまるまで電源コードホルダーを押し下げ、電源コードを固定する



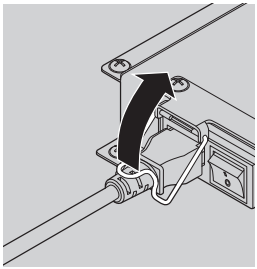
お願い

- 電源コードホルダーを押し下げて電源コードを固定するときは、<AC IN> 端子に無理な力が加わらないように電源コードの反対側を持ってください。

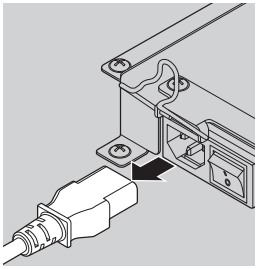


電源コードを外すとき

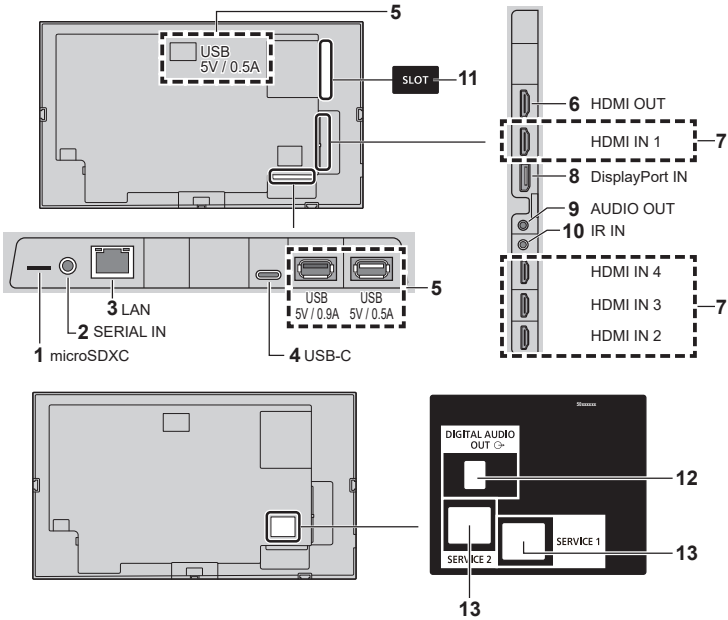
1 電源コードを固定している電源コードホルダーを上に持ち上げる



2 電源コードホルダーを持ちながら、ディスプレイの <AC IN> 端子から電源コードを引き抜く



映像機器の接続



1 microSDXC：microSD カード端子

microSD カードを接続します。

2 SERIAL IN：シリアル入力端子

パソコンに接続して本機を制御します。

3 LAN：LAN 端子

ネットワークに接続して本機を制御します。

4 USB-C：USB-C 端子

USB-C 端子があるパソコンや映像機器を接続します。
受像時に 15 W(5 V/ 最大 3.0 A) まで外部機器に電源を供給できます。

5 USB：USB 端子（3 系統）

USB メディアプレイヤー機能または USB 自動再生機能で使用します。また、受像時に 5 V/ 最大 0.9 A または 0.5 A まで外部機器に電源を供給できます。

6 HDMI OUT：HDMI 出力端子

HDMI1 端子から入力された映像・音声信号を出力します。HDMI 入力がある映像機器に接続します。

7 HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、HDMI IN 4：HDMI 入力端子（4系統）

HDMI 出力がある映像機器を接続します。
また、HDMI IN 1 端子は ARC 対応機器と接続することで音声を出力します。

8 DisplayPort IN：DisplayPort 入力端子

DisplayPort 端子があるパソコンや映像機器を接続します。

9 AUDIO OUT：アナログ音声出力端子

アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。

10 IR IN：赤外線信号入力

1 台のリモコンで複数台のディスプレイを操作するときに使用します。

11 SLOT：機能拡張用スロット

（☞ 13 ページ）

お知らせ

- 対応するファンクションボードについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

12 DIGITAL AUDIO OUT：デジタル音声出力端子

デジタル音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。

13 SERVICE 1、SERVICE 2：サービス端子

サービス専用

お知らせ

- サービスマン以外は使用しないでください。故障の原因になる場合があります。

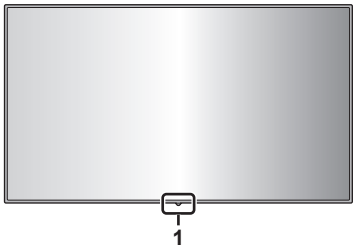
接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
  - ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
  - 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
  - ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバー部がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- 映像機器からの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。

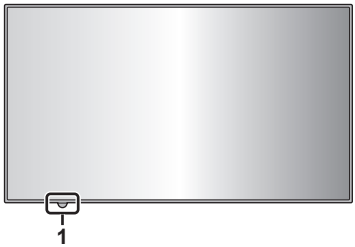
各部の基本説明

ディスプレイ

98/86/75V 型



65/55/50/43V 型



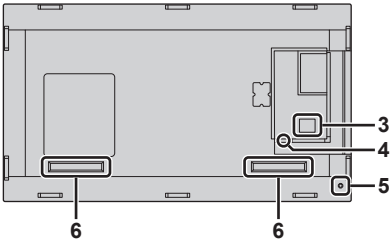
1 外部 IR 受信機（☞ 15 ページ）

本体の電源「入」のとき（電源スイッチ「入」）

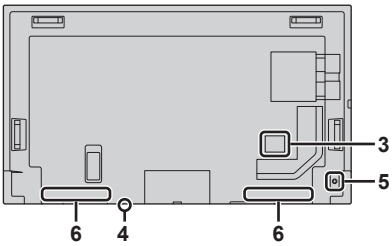
LED の状態	ディスプレイの状態
緑色点灯	映像表示状態
赤色点灯	スタンバイ状態になったとき
赤色と緑色の点滅	起動中

本体の電源「切」のとき（電源スイッチ「切」）：消灯

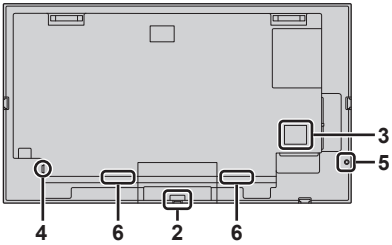
98/86V 型



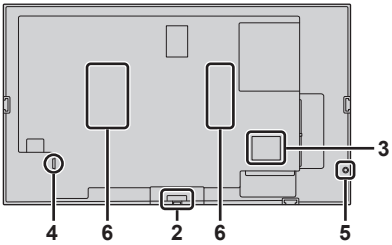
75V 型



65/55V 型



50/43V 型



2 内蔵 IR 受信機（65/55/50/43V 型）

本体の電源「入」のとき（電源スイッチ「入」）

LED の状態	ディスプレイの状態
緑色点灯	映像表示状態
赤色点灯	スタンバイ状態になったとき
赤色と緑色の点滅	起動中

本体の電源「切」のとき（電源スイッチ「切」）：
消灯

3 外部入出力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。
（☞ 21 ページ）

4 電源スイッチ

電源を「切」「入（|）」します。

電源スイッチの「切」「入」は、電源プラグの抜き差しと同じです。まず電源スイッチを「入（|）」にしてから、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を「切」または「入」にしてください。

5 ジョイスティック

ホームメニューを表示しているとき（※ 1）、または画像を表示しているとき

ディスプレイの電源「入」/「切」：ジョイスティックの中央を数秒間押し続けると、ディスプレイが点灯または消灯します。

任意のメニューが表示されている場合（※ 1 ※ 2）

メニューのカーソル移動：ジョイスティックの右 / 左 / 上 / 下キーを押します。

メニュー項目の選択：ジョイスティックの中央を 1 回押します。

※ 1 ホームメニュー

※ 2 メニュー例

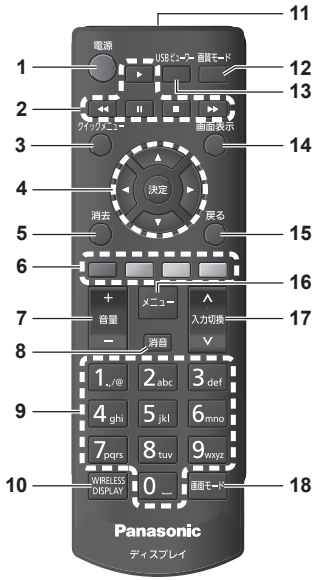
6 内蔵スピーカー

音は後方へ出力されます。

お知らせ

- AUDIO OUT 端子へ接続しているときは、内蔵スピーカーから音声は出力されません。
- 接続する機器によっては、内蔵スピーカーから音声が出力される場合があります。

リモコン



1 電源ボタン

- 本体の電源ボタンが「入」状態で電源を切 / 入します。

2 ナビゲーションボタン

- USB ビューワーや HDMI CEC 機能の操作に使用します。

3 クイックメニューボタン

- 映像や音声、本機の設定を表示します。

4 決定ボタン / カーソルボタン（▼▲◀▶）

- メニュー画面の操作に使用します。

5 消去ボタン

- 表示されたメニューを閉じて終了します。

6 カラーボタン

- 本機では使用しません。

7 音量 - ボタン / 音量 + ボタン

- 音量を調節します。

8 消音ボタン

- 音声を一時的に消します。

9 数字（1 ～ 0）ボタン

- IP アドレスの入力などで使用します。

お知らせ

- 本機では数字以外の入力はできません。

10 WIRELESS DISPLAY ボタン

- ワイヤレスディスプレイ接続画面を開きます。

11 リモコン発信部

12 画質モードボタン

- 画質モードを切り換えます。

13 USB ビューワーボタン

- 本機では使用しません。

14 画面表示ボタン

- 入力や解像度などの各種設定状態を確認します。

15 戻るボタン

- 前の画面に戻ります。

16 メニューボタン

- メインメニューを表示します。

17 入力切換ボタン

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。

18 画面モードボタン

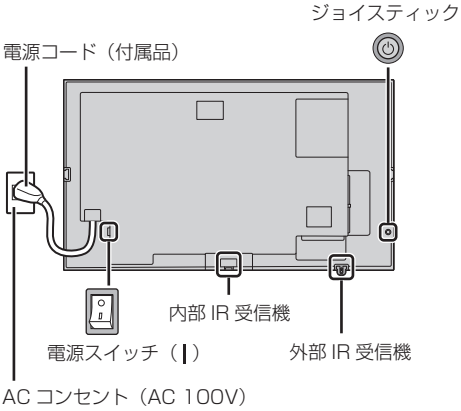
- 画面モード（アスペクト）を切り換えます。

お知らせ

- 本書では ＜入力切換＞ のようにリモコンや本体のボタンを ＜＞ で表しています。

基本の操作

55 インチモデルの例 (☞ 23 ページ)



リモコンは IR 受信機へ向けて操作してください

お願い

- 本体の IR 受信機とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンは IR 受信機の正面あるいは IR 受信機を見渡せる方向から同部へ向けて操作してください。
- リモコンを直接本体の IR 受信機へ向けて操作する場合は、IR 受信機の正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 本体の IR 受信機に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをディスプレイに接続する

(☞ 19 ページ)

2 電源プラグをコンセントへ接続する（AC 100 V 50 Hz/60 Hz）

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くと、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間をおいてから電源プラグを抜くか、リモコンや RS-232C 制御または LAN 制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜いてください。

3 本体の電源スイッチを「入（|）」にする

■ リモコンで「切」「入」する

電源を入れる

- 本体の電源「入」（電源ランプ --- 赤色）でリモコンの電源ボタンを押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯（受像状態）

電源を切る

- 本体の電源「入」（電源ランプ --- 緑色）でリモコンの電源ボタンを押すと電源「切」になります。

電源ランプ：赤色点灯（スタンバイ）

お知らせ

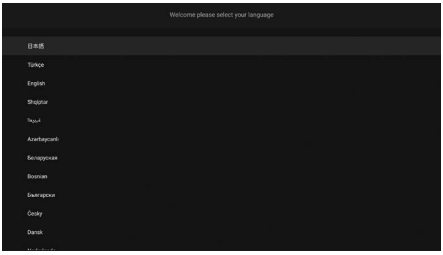
- 電源プラグを抜いたあとも、電源ランプがしばらく点灯し続けることがありますが故障ではありません。
- 電源が「入」またはスタンバイのときに本体の電源スイッチを「切」にすると、本体の電源が切れます。

初めて電源を「入」にしたとき

初めて電源を入れるときは、初期設定を行う必要があります。画面の指示に従ってセットアップします。表示される案内に従い、◀▶▼▲と＜決定＞を使用して、順番に選択、設定、確認および続行をします。＜戻る＞を使用して前の手順に戻り、選択内容を変更できます。
設定する必要がない場合、またはあとで設定する場合は、画面上で [次へ] などを選択し、
＜決定＞を押して続行します。

1 言語選択

言語選択オプションが画面に表示されます。
言語を選択し、＜決定＞を押して続行します。



2 国選択

国を選択し、＜決定＞を押して続行します。

3 ログイン

PIN の設定画面が表示されます。PIN の初期設定値は [0000] です。変更しない場合は [PIN をスキップする] を選択し、＜決定＞を押してください。変更する場合は別の 4 桁の数字を入力し、＜決定＞を押してください。あとからメニュー操作のときに PIN を入力するように求められた場合は、この PIN を入力してください。

4 ユーザー名とパスワード

パスワードポリシーを選択し、注意事項をお読みください。そのあとに、ユーザー名とパスワードを設定して保存してください。

[パスワードポリシー]

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウインドウで表示されます。

[ユーザー名入力]

ユーザー名設定のキーボードが表示されます。ユーザー名を入力してください。

[新規パスワード入力]

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力してください。

[新規パスワード確認]

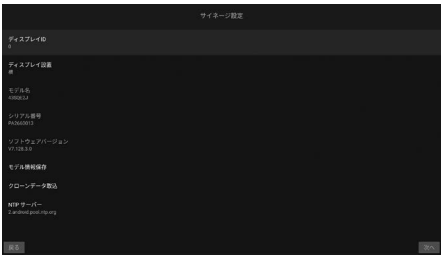
パスワード設定のキーボードが表示されます。再度同じパスワードを入力してください。

[適用]

上記で設定したユーザー名およびパスワードをディスプレイ本体に保存します。

5 サイネージ設定

[サイネージ設定] メニューが表示されます。[ディスプレイ ID]、[ディスプレイ設置]、[NTP サーバー] は、このメニューから設定します。[モデル名]、[シリアル番号]、[ソフトウェアバージョン] は情報のみ表示され選択できません。[モデル情報保存] を使用して、本機のモデル情報のデータを接続された USB デバイスに保存できます。[クローンデータ取込] を使って、接続された USB デバイスから本機にデータベースファイルをコピーできます。設定が完了したら、[次へ] を選択し、<決定>を押してください。

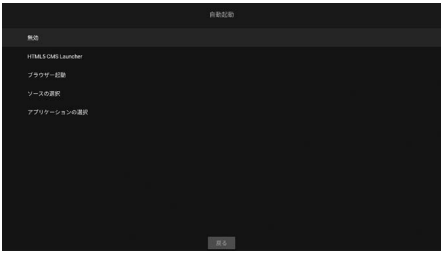


6 自動起動

[自動起動] 画面が表示されます。[HTML5 CMS Launcher]、[ブラウザー起動]、[ソースの選択]、[アプリケーションの選択] を設定できます。この機能を使用しない場合は、[無効] を選択してください。起動時の画面を選択し、< 決定 > を押してください。

お知らせ

- [ソースの選択] および [アプリケーションの選択] では、利用可能なソースまたはアプリケーションを設定する必要があります。[ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [起動設定] → [自動起動] にて、あとから設定を変更できます。

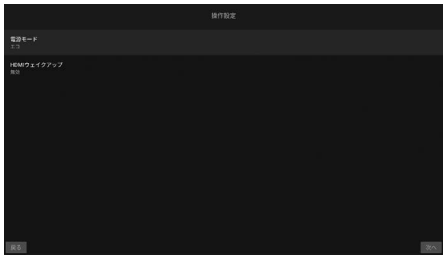


7 操作設定

[操作設定] メニューが表示されます。[電源モード] を [エコ] に設定すると通常どおり電源オンします。[リアクティブ] に設定すると電源「入」時に素早く電源オンします。[HDMI ウェイクアップ] を [5V] に設定した場合、HDMI 5V に基づき映像検出されると電源オンし、検出されなくなると電源オフします。設定が完了したら、[次へ] を選択して、< 決定 > を押してください。

お知らせ

- 本設定が [リアクティブ] の場合、スタンバイ時の消費電力が大きくなります。
- 本設定が [エコ] の場合、SERIAL (RS-232C)/LAN コマンドは機能しません。



8 ネットワーク / インターネット設定

ネットワークの各種設定メニューが表示されます。設置環境に合わせて設定を行ってください。
[ネットワークスタンバイモード] を [オフ] に設定すると、スタンバイモードでのディスプレイの消費電力を抑えることができます。
設定が完了したら、[次へ] を選択して、< 決定 > を押してください。

お知らせ

- [自動起動] が無効に設定されている場合、初期設定が完了するとホーム画面が表示されます。
- [ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [起動設定] で、自動起動設定を変更できます。
- ディスプレイの [工場出荷設定] を使用して、いつでも初期セットアップを繰り返し、本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。

■ 設定をやり直したいときや、工場出荷時の設定に戻したいときは

[サイネージ設定] メニューから、[工場出荷設定] を選択し、< 決定 > を押してください。最初に設定した PIN の入力を求められます。正しい PIN を入力すると、すべての設定を解除して本機をリセットするかどうか確認するメッセージが表示されます。[実行] を選んで、< 決定 > を押してください。

お知らせ

- 初期設定中は電源を切らないでください。
- PIN を忘れたときは、販売店に修理をご依頼ください。
- PIN の初期設定値は [0000] です。

仕様

本体

品番	TH-43SQE2J (43V 型) ※1	TH-50SQE2J (50V 型) ※1	TH-55SQE2J (55V 型) ※1	TH-65SQE2J (65V 型) ※1
種類	UHD 液晶ディスプレイ			
使用電源	AC100 V ± 10%　50 Hz ／ 60 Hz			
	2.7 A	3.1 A	3.3 A	3.9 A
消費電力	125 W※2	120 W※2	135 W※2	195 W※2
	本体電源「切」時　約 0 W リモコンで電源「切」時　約 0.5 W			
音声実用最大出力	16 W (8 W + 8 W) JEITA	20 W（10 W + 10 W）JEITA		
スピーカー	8 W (8 Ω フルレンジ: 10 cm × 2.5 cm / φ 1.5 cm）× 2 個	10 W（8 Ω フルレンジ：10 cm × 2.5 cm / φ 1.5 cm）× 2 個		
液晶ディスプレイパネル	43V 型※1 （アスペクト比 16:9）	50V 型※1 （アスペクト比 16:9）	55V 型※1 （アスペクト比 16:9）	65V 型※1 （アスペクト比 16:9）
	ADS パネル （Direct LED バックライト）	VA パネル （Direct LED バックライト）	ADS パネル（Direct LED バックライト）	
画面寸法	幅　941.1 mm 高さ　529.4 mm 対角　1 079.8 mm	幅　1 095.8 mm 高さ　616.4 mm 対角　1 257.3 mm	幅　1 209.6 mm 高さ　680.4 mm 対角　1 387.8 mm	幅　1 428.4 mm 高さ　803.5 mm 対角　1 638.9 mm
画素数	8 294 400 画素（水平 3 840 × 垂直 2 160）			
動作使用条件	温度：0 ℃～ 40 ℃※3　湿度：20% ～ 80%（結露のないこと）			
稼働時間	24 時間 / 日			
SLOT 用 供給電力	12 V / 最大 4.15 A	12 V / 最大 5.5 A		
HDMI 入力端子 HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、HDMI IN 4	TYPE A コネクター※4 × 4（4K 対応）HDCP2.2 対応 音声信号　リニア PCM（サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz）			
DisplayPort 入力端子 DisplayPort IN	DisplayPort 端子 × 1（4K 対応）HDCP2.2 対応 音声信号　リニア PCM（サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz）			
HDMI 出力端子 HDMI OUT	TYPE A コネクター※4 × 1（4K 対応）HDCP2.2 対応 音声信号　リニア PCM（サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz）			
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 ステレオミニジャック（M3）（φ 3.5 mm）× 1　RS-232C 準拠			
リモコン入力端子 IR IN	ステレオミニジャック（M3）（φ 3.5 mm）× 1			
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック（M3）（φ 3.5 mm）× 1　0.5 V [rms] 出力：可変（- ∞ ～ 0 dB）（1 kHz　0 dB 入力、10 k Ω負荷時）			
デジタル音声出力端子 DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF × 1			
LAN 端子 LAN	RJ45 × 1　ネットワーク接続用、PJLink 対応 通信方式：RJ45　10BASE-T/100BASE-TX			
USB 端子 USB-C、USB	USB コネクター　TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.9 A、USB3.0 対応 USB コネクター　TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.5 A、USB2.0 対応 USB コネクター　TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.5 A、USB2.0 対応 (カバー内) USB コネクター　TYPE C × 1：DC 5 V / 最大 3.0 A、USB3.0 対応、DP Alt Mode 対応			
microSD カード端子 microSD	対応規格：microSD/SDHC/SDXC 容量：最大 1TB			

品番	TH-43SQE2J (43V 型) ※1	TH-50SQE2J (50V 型) ※1	TH-55SQE2J (55V 型) ※1	TH-65SQE2J (65V 型) ※1
サービス端子 SERVICE 1、SERVICE 2	RJ12 × 2（サービス専用）			
外形寸法	幅　964 mm 高さ　555 mm （リモコンセンサーを含む : 573 mm） 奥行　83 mm	幅　1 121 mm 高さ　646 mm （リモコンセンサーを含む : 664 mm） 奥行　83 mm	幅　1 236 mm 高さ　710 mm （リモコンセンサーを含む : 728 mm） 奥行　84 mm	幅　1 456 mm 高さ　835 mm （リモコンセンサーを含む : 853 mm） 奥行　96 mm
質量	約 10.6 kg	約 13.7 kg	約 18.2 kg	約 24.9 kg
キャビネット材質	金属（前面）、樹脂（側面、バックカバー）			

品番	TH-75SQE2J（75V 型）※1	TH-86SQE2J（86V 型）※1	TH-98SQE2J（98V 型）※1
種類	UHD 液晶ディスプレイ		
使用電源	AC100 V ± 10%　50 Hz ／ 60 Hz		
	4.3 A	4.7 A	8.6 A
消費電力	225 W※2	250 W※2	530 W※2
	本体電源「切」時　約 0 W リモコンで電源「切」時　約 0.5 W		
音声実用最大出力	24 W（12 W + 12 W）JEITA		
スピーカー	（6 W [16 Ω フルレンジ：10 cm × 2.5 cm / φ 1.5 cm] × 2 個）× 2 個		
液晶ディスプレイパネル	75V 型※1 （アスペクト比 16:9）	86V 型※1 （アスペクト比 16:9）	98V 型※1 （アスペクト比 16:9）
	ADS パネル （Direct LED バックライト）	IPS パネル （Edge LED バックライト）	ADS パネル （Direct LED バックライト）
画面寸法	幅　1 649.6 mm 高さ　927.9 mm 対角　1 892.7 mm	幅　1 895.0 mm 高さ　1 065.9 mm 対角　2 174.2 mm	幅　2 158.8 mm 高さ　1 214.3 mm 対角　2 476.9 mm
画素数	8 294 400 画素（水平 3 840 × 垂直 2 160）		
動作使用条件	温度：0 ℃～ 40 ℃※3　湿度：20% ～ 80%（結露のないこと）		
稼働時間	24 時間 / 日		
SLOT 用 供給電力	12 V/ 最大 5.5 A		
HDMI 入力端子 HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、HDMI IN 4	TYPE A コネクター※4 × 4（4K 対応）HDCP2.2 対応 音声信号　リニア PCM（サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz）		
DisplayPort 入力端子 DisplayPort IN	DisplayPort 端子 × 1（4K 対応）HDCP2.2 対応 音声信号　リニア PCM（サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz）		
HDMI 出力端子 HDMI OUT	TYPE A コネクター※4 × 1（4K 対応）HDCP2.2 対応 音声信号　リニア PCM（サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz）		
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 ステレオミニジャック（M3）（φ 3.5 mm）× 1　RS-232C 準拠		
リモコン入力端子 IR IN	ステレオミニジャック（M3）（φ 3.5 mm）× 1		
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック（M3）（φ 3.5 mm）× 1　0.5 V [rms] 出力：可変（- ∞ ～ 0 dB）（1 kHz　0 dB 入力、10 k Ω負荷時）		
デジタル音声出力端子 DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF × 1		
LAN 端子 LAN	RJ45 × 1　ネットワーク接続用、PJLink 対応 通信方式：RJ45　10BASE-T/100BASE-TX		
USB 端子 USB-C、USB	USB コネクター　TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.9 A、USB3.0 対応 USB コネクター　TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.5 A、USB2.0 対応 USB コネクター　TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.5 A、USB2.0 対応（カバー内） USB コネクター　TYPE C × 1：DC 5 V / 最大 3.0 A、USB3.0 対応、DP Alt Mode 対応		
microSD カード端子 microSD	対応規格：microSD/SDHC/SDXC 容量：最大 1TB		
サービス端子 SERVICE 1、SERVICE 2	RJ12 × 2（サービス専用）		
外形寸法	幅　1 684 mm 高さ　968 mm （リモコンセンサーを含む：984 mm） 奥行　100 mm	幅　1 929 mm 高さ　1 100 mm （リモコンセンサーを含む：1 116 mm） 奥行　81 mm	幅　2 216 mm 高さ　1 271 mm （リモコンセンサーを含む：1 288 mm） 奥行　99 mm
質量	約 37.4 kg	約 62.9 kg	約 99.8 kg
キャビネット材質	金属（前面）、 樹脂（側面、バックカバー）	金属（前面、側面、バックカバー）	

無線

無線 LAN	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac Dual band（無線 LAN 標準プロトコル） 使用無線チャンネル CH 1-13、CH 36-64、CH 100-140
Bluetooth	Bluetooth 5.1

リモコン

使用電源	DC 3 V（単 3 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個）
操作距離	約 7 m 以内（IR 受信部正面）
質量	約 111 g（乾電池含む）
外形寸法	幅：51 mm　高さ：161 mm　奥行：27 mm

※ 1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※ 2 工場出荷設定時
※ 3 高地（海抜 1 400 m 以上 2 800 m 未満）で使用する場合の使用環境温度は 0 ℃～ 35 ℃になります。
※ 4 VIERA LINK 非対応
本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック プロジェクター＆ディスプレイ株式会社（パナソニック プロジェクター＆ディスプレイ）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニック プロジェクター＆ディスプレイにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)、Version3.0 (LGPL V3.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、LGPL V3.0 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品のディスプレイ設定メニューからの所定の操作によって [法的情報] の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック プロジェクター＆ディスプレイは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、LGPL V3.0、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- 米国でご使用の場合：
  Crestron®、Crestron Connected®、Crestron Connected ロゴ、Crestron Fusion®、XiO Cloud® は、Crestron Electronics, Inc. の、米国および / または各国での商標または登録商標です。
  Crestron Connected® software は Crestron Electronics, Inc. が所有し、Crestron XiO Cloud® Service と互換性があります。

  米国以外でご使用の場合：
  Crestron、Crestron Connected、Crestron Connected ロゴ、Crestron Fusion、XiO Cloud は、Crestron Electronics, Inc. の、米国および / または各国での商標または登録商標です。
  Crestron Connected software は Crestron Electronics, Inc. が所有し、Crestron XiO Cloud Service と互換性があります。

CRESTRON
CONNECTED

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
- JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、ドルビーオーディオおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- microSDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ® や ™ マークは明記していません。

各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品　番	
	販　売　店　名		お客様ご相談窓口	
		☎(　　)　－	☎(　　)　－	

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は

  保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

- 保証期間を過ぎているときは

  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

- 修理料金の仕組み

  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

■ 補修用性能部品の保有期間

パナソニック プロジェクター＆ディスプレイ株式会社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を､製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ **使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。**

■ **その他ご不明な点は下記へご相談ください。**

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル **0120-872-002**

携帯OK ※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは
https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_support

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック プロジェクター＆ディスプレイ株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき､ご相談内容は録音させていただきます｡また､折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し取扱説明書から切り離した本書をご提示ください。
2. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合及びその他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
   （ホ）他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費及び高所の取外し、取付に要する実費
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

映像関連機器保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

※ 品　　番 お買い上げの製品品番□にチェックしてください。	□TH-98SQE2J　□TH-55SQE2J □TH-86SQE2J　□TH-50SQE2J □TH-75SQE2J　□TH-43SQE2J □TH-65SQE2J
保証期間	お買い上げ日から 本体３年間
※ お買い上げ日	年　　月　　日
※ お客様	ご住所 お名前　　様 電　話（　　）　　―
※ 販売店	住所・販売店名 電話（　　）　　―

パナソニック プロジェクター＆ディスプレイ株式会社
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号　TEL 0120-872-002

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。